

八角巡礼——夢の領土 巡礼地

テキスト＝大崎晴地

巡礼地・協力＝菊地暁、本橋仁

1、 八角九重塔

平安時代後期、この岡崎公園の地には八メートルもの高さのある「八角九重塔」（法勝寺境内）が建てられていました。何度かの火事で今は失われた幻の八角堂。ちょうど動物園の観覧車のある場所がその跡地です。

▶京都市左京区岡崎法勝寺町 岡崎公園内 京都市動物園

2、 蚕の社

平安時代以前からある木嶋神社の「蚕の社」には、鳥居が三角形に囲った三柱鳥居が知られています。通常はお堂の正面にある鳥居ですが、その鳥居が三角形をなして独立している。その結界は何の鳥居なのでしょう。何も無い中央の点（宇宙）、その虚無の噴火口に思いを馳せることもできるでしょう。それは無角形の渾沌を彷彿としないでしょうか。鳥居のディメンジョンをそのように考えると、あの有名な伏見稲荷大社の連続した鳥居の見え方も変わってしまいそうです。

▶京都市右京区太秦森ヶ東町 50 木嶋坐天照御魂神社境内

3、 御土居

安土桃山時代、豊臣秀吉は台形の土塁と堀からなる境界を作り、都市改造を行いました。角のある堤防、防塁が築かれることで、「洛中」と「洛外」の境界線が引かれます。人間による視覚的な内と外の差別化は、その土地の鞍馬や丹波の物の怪を怒らせたかもしれません。家の古道具を路地に捨てる「煤払い」は、付喪神の災難に合わないために行われるのだそうですが、それは人間に対する捨てられた家具や道具の復讐です。後の時代の近代化にともない私たちの住む京都はフラットになり、当時の広大な敷地は見えにくくなりましたが、「御土居」にはその台形のわかる起伏が今も残されています。

▶京都市上京区馬喰町

4、 小野篁・紫式部の墓

小野篁と生前接点を持っていない紫式部は、「源氏物語」で男女の愛欲を描いて人々を惑わせた罪に問われた墮獄説があり、後世の歌人によって篁に救済を祈願するための供養塔が建てられ、篁と式部の墓は隣り合わせになっています。おおよそ一〇〇年ほど遅れて生まれた式部と篁をつなぐ墓地はこんもりとした小山となっており、地下水脈は起伏をなしています。篁の墓に対して式部の墓は大きく、むしろ篁を囲い込んでいるように見えます。

▶京都市北区紫野西御所田町

5、 ライフ・イン京都

介護老人ホームの「ライフ・イン京都」は、プロダクト・デザイナーの若林広幸が設計した建築です。アジアの老人ホームを設計する人たちの見本にされるくらいに、世界的に評判が高いようです。足腰を鍛えるためにバリアをむしろ作るべきだと考えて設計されたというこの建物には、天井に逆さ階段があったり、エントランス正面には滝が流れ、老人ホームの先入観を払拭してくれます。バリアフリーが進んだ空間でリハビリして、バリアフルな屋外に出てもすぐに転倒してしまうでしょう。脆弱な身体を作るよりも、バリアを生かすことで逆説的な自在さを獲得することができるのです。それこそ蘇りや復活、回復にはそうした異質なねじれを通過した後の強さ（可塑性）を持っている。ライフ・イン京都の建物は、堂々と京都の風景に向き合っています。遠くから見ると、どこかピラミッドの遺跡のようです。

▶京都市西京区山田平尾町 46-2

6、 縁切り縁結び碑

安井金比羅の「縁切り縁結び碑」は、江戸時代の断ち（たち）の祈願のならわしから来ており、ここでも石にあいた穴を這って通過することで誰かとの縁を切り、再度、同じ穴を戻ることにより誰かとの縁を結ぶという方向性があります。同じ場所でありながらも、前と後ろでは風景が異なるように、往路と復路の思想がある。このため多くの若者たちが日本各地からやってきて、怨念のエネルギーが文字通り渦巻いています。

▶京都市東山区東大路松原上ル下弁天町 70 安井金比羅宮

7、 ねじりまんぼ

地上と冥界がはっきりと分かれずに曖昧な状態を残した異次元の場所は、宗教施設以外にも日常の中に実在するはず。 「ねじりまんぼ」（粟田口隧道）と呼ばれる明治に造られたトンネルは、レンガ造りであるにもかかわらず、らせん状にねじれていく錯覚を起こす造りをしており、まさにそこをくぐり抜けると冥界への入り口のようなのです。もともと土地の名である「蹴上」にも名残があるように、江戸時代に粟田口刑場のあった縁起の悪い場所でした。しかし、琵琶湖疏水が開通した明治期に、船を運ぶインクラインが上を通り、鉄道や用水の重さに耐える強度を保つ「ねじり」を取り入れたトンネルが作られた。このトンネルには入り口に「雄観奇想」、反対側に「陽気発処」と書かれています。

▶京都市左京区南禅寺福地町

8、 蛇塚古墳

前方後円墳の「蛇塚古墳」は、日常の民家の中に突如として現れる巨石で、後円部中央の石室に当たる部分だけ残っています。広大な古墳の面積は地下世界に埋まり、文字通り地上を基礎付けています。

▶京都市右京区太秦面影町

